



2021年の締めくくり

佐野中学校長 岡崎 宏一

2021年も残り1ヶ月となり、締めくくりの月となりました。今年の反省とともに反省を生かす後半戦でもあります。

皆さんは、一月一日、元旦の朝起きたときにどんなことを考えたでしょうか。今年こそ、部活動を頑張ろうとか、学校の勉強を頑張ろうとか、未来に向かって夢を思い描いていたと思います。

今年もコロナ禍の対応で、大変な一年となりましたが、大きな行事はほとんど終わりました。体育祭（学年クラスマッチ）、2・3年生校外学習、1・2年生の新人戦や合唱コンクールと生徒一人ひとりの高い意識を持った行事を実施することができました。

日常生活においても朝の元気のよいあいさつに始まり、時間を守り、落ち着いた授業態度、清掃活動も隅からすみまで丁寧にいき、来客の方々からお褒めのことばを頂くほどでした。

そして、今の学年になってどんな成長をしたことでしょうか。行事を振り返ってみると、自分達の成長がたくさん見つかります。学校教育理念「毎日やる気をもって・大事なのは今・他人を労る思いやり」や学級目標に近づくために、自分はどんなことを頑張ってきたか。一つひとつの行事や勉強を振り返ってみることで、自分の良いところや何ができるようになったとか、前より頑張れるようになったとか、必ず成長しているはずです。

人の成長は、振り返りが大事です。振り返りをすることで自分や友達の成長に気がつくことができます。その上に次の成長が来るのです。しっかりとクラスでも自分自身でも振り返ってみることが大切です。それが未来の自分を育てることにつながります。

最後に、保護者の皆様方には、コロナ禍の対応もあり、全部の行事に参加してもらうことはできませんでしたが、参加して頂いた行事に対しては応援に駆けつけてくださり、生徒たちをはじめ、我々教職員にとっても、どれだけ心の支えになったことかわかりません。残りの後期課程も子ども達を励まし、さらなる意欲をもって成長していけるようお願いいたします。

授業参観・懇談会
(12月3日(金))

2年ぶりに平常な形で授業参観・懇談会が行われました。一人一人端末や大型モニターを積極的に活用した授業に、子どもたちも生き生きと学習していました。





一人一台のタブレットを活用した授業が積極的に展開されています。デジタル画面に長時間接していると、「目」への影響が懸念されます。

正しい姿勢で少しでも「目の疲れ」が残らないようにしましょう。

デジタル機器の正しい使い方

- ① イスに深く腰掛け、背筋を伸ばして、画面からは30cm以上離そう。
- ② 適度な休憩（30分に一度20秒程度）を取ろう。
- ③ デジタル画面から出る強い光は睡眠障害を引き起こす恐れがあるため、睡眠前1時間以内は使わないようにしましょう。

学校運営協議会12月3日(金)

学校運営協議会は、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実現するための仕組みです。

市内でも各学校において、学校運営協議会を設置して、学校や保護者、地域住民の信頼関係を深め、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に取り組んでいきます。

今年度は9月に第1回の学校運営協議会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、書面のみとなっていました。第2回（12月3日）は、実際に授業を参観していただく機会がもてました。

併せて、茨城県立佐和高校の先生方も来て、授業の様子を参観していただきました。

